



「言葉かけの変換」
 ～ペップトークから学ば～

千葉市青少年サポートセンター西分室
 担当所長補佐 奥小路 晴夫

皆さんは、学生時代の部活動や習い事などの先生方から、どのような言葉かけを受けられましたか。40代以上の方の中には厳しい叱咤激励により、頑張ることができた反面、厳しい言葉に傷ついた人もいたのではないのでしょうか。

この夏、千葉市青少年補導員連絡協議会西部ブロック研修会にて、稲毛中学校区の青少年補導員でもある日本ペップトーク普及協会、岸田輝美様に「言葉かけの変換」について講演をしていただきましたので、少しご紹介します。

ペップトークは、もともとアメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチです。「PEP」は英語で、元気・活気・活力という意味があります。スポーツ現場はもちろん、家庭で、職場で、教育現場ですぐに実践できるシンプルでポジティブな言葉を使ったコミュニケーションです。〈日本ペップトーク普及協会HPより〉

講演会では、補導活動で生かせる青少年への言葉かけの方法を学びました。1つ目は「怒らないで叱る」です。怒るとは相手に対して感情的に話をする行動であり、叱るとは相手を見てどうしたらよいかを考えてから話をする行動のことです。叱る行動は、相手に納得のいく説明をしようと言葉を選ぶので、相手も受け入れやすくなります。2つ目は「とらえ方変換」です。

自分のとらえ方を変えると、見え方や感じ方も変わってきます。例えば、「すぐキれる」→「情熱的」、「頑固だ」→「信念がある」など、欠点だと思われた性格が前向きな言葉に置き換えることができます。3つ目は「してほしい変換」です。してほしくない言葉を発するより、してほしい思いを言葉にすることです。例えば、「廊下を走るな」を「廊下は歩こうね」と変換することです。以上のようなポジティブな言葉かけを意識することで、相手のモチベーションを高めたり、やる気を引き出したりすることができるということでした。この講演では、改めてポジティブな言葉かけの大切さを学べた貴重な経験となりました。

研修会当日の夜間に海浜公園のパトロール活動をしていると、花火を楽しんでいる多くの高校生に会いました。以前でしたら、「遅くまで騒ぐなよ」「ゴミを散らかすなよ」と言っていたものを「暗くなったから気を付けて帰ってね」「ごみの後始末しっかり頼むよ」と学んだことを生かし話しかけることができました。高校生たちは「はい、気を付けて帰ります。ありがとうございます。」と、こちらが元気をもらえる言葉を返してくれました。

今後も青少年に寄り添って、ペップトークを意識した言葉かけに努めて参りたいと思います。

《令和5年7月》

【不審者等情報】

区分	発生日時	場所	内容
露出	7月上旬(木) 午後4時頃	高田町	児童が子どもルームから帰宅する際、露出した男に追いかけられた。男は中年、大柄。
声かけ	7月下旬(金) 午後2時頃	千城台西	下校後、児童が公園で遊んでいたところ、男に「これから一緒に遊びにいかない?」と話しかけられた。男は中年、口ひげ。

不審者にあったら、すぐ警察に通報!

声をかけられる・体を触られる・手をつかまれる・露出・盗撮

被害にあった・被害にあいそうになったときも⇒ **警察に通報 110番**

青少年サポートセンターでは、ホームページを開設しています。

ぜひご覧ください。



＜サポートセンターへこちらからアクセス＞

社会環境実態調査の実施

千葉市では、青少年の育成環境の健全化を図るとともに「千葉県青少年健全育成条例」について広く周知していくことを目的として、9・10月に社会環境実態調査を行っています。

この調査は、コンビニエンスストアや書店、携帯電話販売店、レンタルビデオ店、カラオケ店等を補導員や所員が訪問し、青少年の利用状況の実態把握や有害図書の陳列が適正になされているか、携帯電話やスマートフォン購入の際、フィルタリング機能の説明が十分されているか等の確認を行っているものです。



子どもの変化に気づいたら…

夏休みが終わり、8月28日より千葉市内小・中学校の授業が再開しました。子どもたちの明るい声が学校に戻ってきました。一見元気そうでも、心に悩みや苦しみを抱えている子どもたちもいます。そのような子どもたちのちょっとした変化に気づいたら、学校・地域の補導員・青少年サポートセンター等にご相談ください。

千葉市ホームページでは、夏休み明けの子どもの変化だけでなく、子どもに関する様々なご相談に対応する相談窓口をご案内しています。

<https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/kikaku/sodan.html>



特別夜間補導の結果

千葉市青少年サポートセンターでは7・8月に、青少年の行動実態把握のため、大型店、ゲームセンター、カラオケ店、公園などを中心に“特別夜間補導”を実施しました。

<特別夜間補導実施報告より 一部抜粋>

- ・大型店フードコートのキッズコーナーに19時30分頃、小学生を置いて、店内のスーパーに買い物に行ってしまう親がいた。(キッズコーナーは未就学児が使用するものと掲示あり)
 - ・公園で中学生、高校生に帰宅が遅くならないよう声かけをした。
 - ・ゲームセンター、ゲームコーナーに子どもはいたが、保護者同伴であった。
 - ・ゲームセンターで遊ぶ児童に帰宅を促す声かけをした。
 - ・千葉駅やスクランブル交差点にて多くの青少年が見受けられた。
- 今後とも、青少年が危険な目に遭わないよう、見守り活動を継続して参ります。



9月16日(土)令和5年度『青少年の日フェスタ』開催

千葉市では、「青少年の日」及び「家庭・地域の日」を周知するとともに、青少年と家庭・学校・地域・行政がつながりを持つことで、青少年のコミュニケーション力を高め、居場所づくりを推進することを目的に、毎年9月の第3土曜日(青少年の日)に「青少年の日フェスタ」を開催しています。

当日は、白バイ乗車記念撮影会・応急手当を学ぼう・将棋と五目並べなどの体験コーナーや、お弁当作り・小物作りなどのコーナーがあります。小学生の子ども達によるダンス発表会や、千葉市をホームタウンとするプロバスケットボールクラブ「アルティエリ千葉」の「Aills(エイルス)」によるスペシャルパフォーマンスも予定されています。ぜひ、お越しください。(※一部事前申込みが必要)

場所：千葉市生涯学習センター(中央区弁天3-7-7)

時間：10時～15時(千葉市ホームページに詳細が掲載されています)



<こちらからアクセス>⇒

